		等專門学校	党 開講年度 令和05年度((2023年度)	授業科目	統計学		
科目基礎	楚情報							
科目番号		19340	05	科目区分	専門 / 🖟	/ 必修		
授業形態		講義		単位の種別と単位	İ	<u>1</u> : 2		
開設学科			報工学科	対象学年	3			
開設期	r++	通年		週時間数	2			
教科書/教 旦当教員	(1/d)	岡山 正		いな教科書を参考にしてほしい。				
23教員 到達目標		Ішіті т	. <u>X</u>					
(1)基本統 (2)クロス (3)単回帰 (4)統計的	計量につい 集計表につ 分析につい 推定や検定	Nて計算でき Oいて説明で Nて簡単に試 Eの必要性に	ごきる。					
レーブリ	ノツク		現場的も利益しがまった	無済(401+171) 表して		+ 70/51 0/11 0/12 0/2		
			理想的な到達レベルの目安 は大統計号について計算できる。	標準的な到達レク	ソルの日安	未到達レベルの目安 基本統計量について計算できない		
評価項目1			基本統計量について計算でき、そ の結果の意味を説明できる。 基本統計量につ		ハて計算できる。			
評価項目2			クロス集計表について計算でき、 その結果について簡単に考察でき る。		ついて計算できる	3 クロス集計表について計算できたい。		
評価項目3			単回帰分析について、どのような ものか簡単に説明でき、単回帰式 や相関係数、寄与率などが計算で きるとともに、その結果について 簡単な考察ができる。			・		
評価項目4			母集団および標本の概念が理解でき、統計的推定や検定の必要性について簡単に説明ができる。	母集団、標本の概できる。	既念が簡単に説明	月 母集団、標本の概念が理解できていない。		
学科の発	到達目標」	項目との		•		·		
<u>,, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>		, 21						
	۵۱,	近年、'	情報処理技術の進展により大量のデータ		 るようになり、1			
概要		一夕解	析は必要不可欠な技術となってきた。。 計量や度数分布表、単純集計やクロス類	ここではデータ解析の	の基礎として統	計学の基本的な事項を学ぶ。		
		講義を	中心に授業を進める。年に10回程度に	する。 事習を行いそのしポ:	- トを提出して:	ちらう。		
受業の原	属性・履(=-ィブラー=	Σ記号の 修上の区分	中心に授業を進める。年に10回程度派 D計算や一次関数、不等式の基礎的な計分	寅習を行いそのレポ・	うくこと。 -	もらう。		
受業の原		Σ記号の 修上の区分	D計算や一次関数、不等式の基礎的な計分	演習を行いそのレポ・ - 算などを復習してま	うくこと。 -			
受業の原 〕 アクテ		Σ記号の 修上の区が ニング	D計算や一次関数、不等式の基礎的な計分	演習を行いそのレポ・ - 算などを復習してま	うくこと。 -			
受業の原 〕 アクテ		Σ記号の 修上の区分	D計算や一次関数、不等式の基礎的な計分	護習を行いそのレポー算などを復習してま □ 遠隔授業対応	らくこと。	□ 実務経験のある教員による授 標		
受業の原 〕 アクテ	゠゙゚゙゙゚゚゙゙゙゚゚゙゙゙゙゚゚゙゙゙゙゙゚゚゙゙ヿ゚ヺ゚゚゙゠゠゚゙゚゙゙゙゙゚゚゙゚゙゚゚゙゚	Σ記号の 修上の区が ニング	D計算や一次関数、不等式の基礎的な計分 □ ICT 利用 授業内容 データとデータ解析 1	護習を行いそのレポー算などを復習してま □ 遠隔授業対応	らくこと。 過ごとの到達目 データ解析とは 、データの種類 尺度) どのよう	□ 実務経験のある教員による授標 標 どのようなものかを説明できる。また (名義尺度、順序尺度、間隔尺度、上 なものがあるのかを説明できる。		
受業の原 〕 アクテ	゠゙゚゙゙゚゚゙゙゙゚゚゙゙゙゙゚゚゙゙゙゙゙゚゚゙゙ヿ゚ヺ゚゚゙゠゠゚゙゚゙゙゙゙゚゚゙゚゙゚゚゙゚	Σ記号の 修上の区グ ニング	D計算や一次関数、不等式の基礎的な計分 ICT 利用 授業内容	護習を行いそのレポー算などを復習してま □ 遠隔授業対応	うくこと。 過ごとの到達目 データ解析とは デデータの種類 尺度) どのよう 様々なグラフに	□ 実務経験のある教員による授標 標 どのようなものかを説明できる。また (名義尺度、順序尺度、間隔尺度、」 なものがあるのかを説明できる。 ついてその特徴を説明できる。		
受業の原 〕 アクテ	゠゙゚゙゙゚゚゙゙゙゚゚゙゙゙゙゚゚゙゙゙゙゙゚゚゙゙ヿ゚ヺ゚゚゙゠゠゚゙゚゙゙゙゙゚゚゙゚゙゚゚゙゚	Σ記号の 多上の区グ ニング 週 1週	D計算や一次関数、不等式の基礎的な計分 □ ICT 利用 授業内容 データとデータ解析 1	護習を行いそのレポー算などを復習してま □ 遠隔授業対応	うくこと。 週ごとの到達目 データ解析とは 天度) どのよう 様々なグラフに 度数分布表とヒ	□ 実務経験のある教員による投標 標 どのようなものかを説明できる。また (名義尺度、順序尺度、間隔尺度、」 なものがあるのかを説明できる。 ついてその特徴を説明できる。 ストグラムについて理解し、少数デ・		
受業の原 」 アクテ	゠゙゚゙゙゚゚゙゙゙゚゚゙゙゙゙゚゚゙゙゙゙゙゚゚゙゙ヿ゚ヺ゚゚゙゠゠゚゙゚゙゙゙゙゚゚゙゚゙゚゚゙゚	Σ記号の 修上の区グ ニング 週 1週 2週 3週	D計算や一次関数、不等式の基礎的な計分 □ ICT 利用 授業内容 データとデータ解析 1 データとデータ解析 2 データの整理と基本統計量 1	護習を行いそのレポー算などを復習してま □ 遠隔授業対応	過ごとの到達目 デデアンとの到達目 デデアンとの利達は ア度)とのよう 様々なグラフに 度数分布表とヒタをもとにそれ 単純集計とクロ	□ 実務経験のある教員による投標 標 どのようなものかを説明できる。まに(名義尺度、順序尺度、間隔尺度、なものがあるのかを説明できる。ついてその特徴を説明できる。ストグラムについて理解し、少数デーズれを求めることができる。 ス集計について理解し、少数データ:		
受業の原 」 アクテ	=ィブラー <u>=</u>	Σ記号の 修上の区グ コング 週 1週 2週 3週 4週	D計算や一次関数、不等式の基礎的な計分	護習を行いそのレポー算などを復習してま □ 遠隔授業対応	過ごとの到達目 デ、尺度) どのよう 様々ながうフに 度数分もとにとれ 単純集計とクロボ	□ 実務経験のある教員による技 標 どのようなものかを説明できる。ま (名義尺度、順序尺度、間隔尺度、 なものがあるのかを説明できる。 ついてその特徴を説明できる。 ストグラムについて理解し、少数デ ぞれを求めることができる。 ス集計について理解し、少数データ めることができる。		
受業の原 」 アクテ	゠゙゚゙゙゚゚゙゙゙゚゚゙゙゙゙゚゚゙゙゙゙゙゚゚゙゙ヿ゚ヺ゚゚゙゠゠゚゙゚゙゙゙゙゚゚゙゚゙゚゚゙゚	Σ記号の 修上の区グ ニング 週 1週 2週 3週	D計算や一次関数、不等式の基礎的な計分 □ ICT 利用 授業内容 データとデータ解析 1 データとデータ解析 2 データの整理と基本統計量 1	貫習を行いそのレポー算などを復習してま □ 遠隔授業対応	過ごとの 過ごとの 到達目 デアラクターの デアラクを デアランクを をなかっました をなかっました をなかっました を変わるといった を変わるといった を変わるといった を変わるといった を変わるといった を変わるとの できる。	歴 実務経験のある教員による投 標 どのようなものかを説明できる。まに (名義尺度、順序尺度、間隔尺度、 はものがあるのかを説明できる。 ついてその特徴を説明できる。 ストグラムについて理解し、少数データがあることができる。 それを求めることができる。 ス集計について理解し、少数データがることができる。 ち代表値(平均、モード、メディアし、少数データからそれぞれを求め		
受業の原 □ アクテ	=ィブラー <u>=</u>	Σ記号の 修上の区グ コング 週 1週 2週 3週 4週	D計算や一次関数、不等式の基礎的な計分	貫習を行いそのレポー算などを復習してま □ 遠隔授業対応	過ごとの 到達 超ごとの 到達と の が、尺 を の が が を を を を を を が が が が が が が が が が が が が	歴 実務経験のある教員による技 標 どのようなものかを説明できる。また (名義尺度、順序尺度、間隔尺度、 なものがあるのかを説明できる。 ついてその特徴を説明できる。 ストグラムについて理解し、少数データを求めることができる。 ス集計について理解し、少数データがることができる。 大集前について理解し、少数データがることができる。 ち代表値(平均、モード、メディアにし、少数データからそれぞれを求める。		
受業の原] <i>アク</i> ラ 受業計画	=ィブラー <u>=</u>	区記号の 修上の区グ	D計算や一次関数、不等式の基礎的な計分 □ ICT 利用 授業内容 データとデータ解析 1 データとデータ解析 2 データの整理と基本統計量 1 データの整理と基本統計量 2 データの整理と基本統計量 3	貫習を行いそのレポー算などを復習してま □ 遠隔授業対応	過 デ、尺 様 度夕 単ら 基)こと 度行いてき 表にとれ 口求 う解。 基)に とれ 口求 う解。 基)に とれ 口求 う解。 基 を	歴 実務経験のある教員による技 標 どのようなものかを説明できる。また。 (名義尺度、順隔尺度、間隔尺度、 なものがあるのかを説明できる。 ついてその特徴を説明できる。 ストグラムについて理解し、少数データができる。 ストグラムについて理解し、少数データができる。 ストガラムについて理解し、少数データがることができる。 ち代表値(平均、モード、メディアがあることができる。 ち代表値(平均、モード、メディアがあることができる。 特に散布度(範囲、分散、標準編纂にし、少数データからそれぞれを求めるまた。 特に散布度(範囲、分散、標準編纂にし、少数データからそれぞれを求めるまたができる。		
受業の原] アクテ 受業計画	=ィブラー <u>=</u>	Σ記号の 修上の区グ コルグ コルグ コルグ コルグ コルグ コルグ コルグ コル	D計算や一次関数、不等式の基礎的な計分	貫習を行いそのレポー算などを復習してま □ 遠隔授業対応	過 デ、尺 様 度夕 単ら 基) ことの 解外を 集れ 統一の が 分 たと と かっと が が か たと 大 を な か も 集れ 統一が 分 、 か たと 上れ を できる	□ 実務経験のある教員による技 標 どのようなものかを説明できる。ま (名義尺度、順序尺度、間隔尺度、 なものがあるのかを説明できる。 ついてその特徴を説明できる。 ストグラムについて理解し、少数データができる。 ストグラムについて理解し、少数データがることができる。 ス集計について理解し、少数データがることができる。 ち代表値(平均、モード、メディアが もし、少数データからそれぞれを求めることができる。 特に散布度(範囲、分散、標準編纂 し、少数データからそれぞれを求めることができる。 本統計量、クロス集計表などの演習を を求めることができる。 本統計量、クロス集計表などの演習を を結果を説明できる。		
受業の原] <i>アク</i> ラ 受業計画	=ィブラー <u>=</u>	区記号の 修上の区グ	の計算や一次関数、不等式の基礎的な計分	貫習を行いそのレポー算などを復習してま □ 遠隔授業対応	過 デ、尺 様 度夕 単ら 基) こ との 解タど グ 布と 計で計いで 市そ 市そ とれ とない 数い 布と 計で計いで 市そ 市そ たん とない 数い 市と は できる	□ 実務経験のある教員による技 標 どのようなものかを説明できる。ま (名義尺度、順序尺度、間隔尺度、 なものがあるのかを説明できる。 ついてその特徴を説明できる。 ストグラムについて理解し、少数データがることができる。 ス集計について理解し、少数データがることができる。 ち代表値(平均、モード、メディア、 し、少数データからそれぞれを求めることができる。 特に散布度(範囲、分散、標準編纂し、少数データからそれぞれを求める。 本統計量、クロス集計表などの演習を求めることができる。 本統計量、クロス集計表などの演習を求めることができる。 本統計量、クロス集計表などの演習を求めることができる。		
受業の原] <i>アク</i> ラ 受業計画	=ィブラー <u>=</u>	区記号の 修上の区グ 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週	D計算や一次関数、不等式の基礎的な計分 □ ICT 利用 授業内容 データとデータ解析 1 データとデータ解析 2 データの整理と基本統計量 1 データの整理と基本統計量 3 データの整理と基本統計量 3 データの整理と基本統計量 4 データの整理と基本統計量 5 データの整理と基本統計量 6 相関係数と単回帰分析 1 相関係数と単回帰分析 2	貫習を行いそのレポー算などを復習してま □ 遠隔授業対応	過 デ、尺 様 度夕 単ら 基) こ 度行 度行 散こ 散果 で との 解り に とれ してき 量にと 数い かい 布と 計で 計いで 計いで 布そ れ 関 で とれ とれ を で とれ とれ とれ とれ とれ とで とれ とで とれ とで き る で とれ で とい の 解り ど が の の う 表に とれ を で き る の理る の で と い で とい で かく 、	標 だのようなものかを説明できる。まに、名義尺度、順序尺度、間隔尺度、間隔尺度、できる。ついてその特徴を説明できる。ついてその特徴を説明できる。ストグラムについて理解し、少数データがることができる。ス集計について理解し、少数データからそれぞれを求めることができる。ち代表値(平均、モード、メディアがもし、少数データからそれぞれを求めた。といて要解し、少数データからそれぞれを求めた。またままなどの演習を求めることができる。本統計量、クロス集計表などの演習を求めることができる。本統計量、クロス集計表などの演習を求めることができる。		
受業の原] アクテ 受業計画	=ィブラー <u>=</u>	区記号の 修上の区グ 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週	D計算や一次関数、不等式の基礎的な計分 □ ICT 利用 授業内容 データとデータ解析 1 データとデータ解析 2 データの整理と基本統計量 1 データの整理と基本統計量 3 データの整理と基本統計量 3 データの整理と基本統計量 4 データの整理と基本統計量 5 データの整理と基本統計量 5 データの整理と基本統計量 6 相関係数と単回帰分析 1 相関係数と単回帰分析 2 相関係数と単回帰分析 3	貫習を行いそのレポー算などを復習してま □ 遠隔授業対応	過 デ、尺 様 度夕 単ら 基)こ 基)こ 度行 散こ 散果 単 最	歴 実務経験のある教員による哲学		
	=ィブラー <u>=</u>	区記号の 修上の区グ 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週	D計算や一次関数、不等式の基礎的な計分 □ ICT 利用 授業内容 データとデータ解析 2 データとデータ解析 2 データの整理と基本統計量 1 データの整理と基本統計量 3 データの整理と基本統計量 3 データの整理と基本統計量 4 データの整理と基本統計量 5 データの整理と基本統計量 6 相関係数と単回帰分析 1 相関係数と単回帰分析 2 相関係数と単回帰分析 3 相関係数と単回帰分析 3	貫習を行いそのレポー算などを復習してま □ 遠隔授業対応	過 デ、尺 様 度夕 単ら 基)こ 度行 度行 散こ 散果 単 最、ことの 解タど グ 布と 計で 計いで 計いで 布そ 内を 回 小少 な 分も 集れ 統つが 統つが 分、 分、 図が 図説 帰 二数 ことそ クを の理る で もで と明 分 乗デ まてき 量 てき る やぞ やで と明 分 乗デ は	□ 実務経験のある教員による技 標 どのようなものかを説明できる。ま (名義尺度、順隔尺度、間隔尺度、 なものがあるのかを説明できる。 ついてその特徴を説明できる。 ストグラムについて理解し、少数データがることができる。 ス集計について理解し、少数データがることができる。 ち代表値(平均、モード、メディアがあることができる。 ち代表値(範囲、分散、標準編纂し、少数データからそれぞれを求めることができる。 本統計量、クロス集計表などの演習を求めることができる。 本統計量、クロス集計表などの演習を求めることができる。 本統計量、クロス集計表などの演習を求めることができる。 本統計量、クロス集計表などの演習を求めることができる。 本統計量、クロス集計表などの演習を求めることができる。 本統計量、クロス集計表などの演習を対し、それぞれを求めることができる。 数について理解し、それぞれを求めることができる。 数について連解し、それぞれを求めることができる。 数について理解していて理解しする。 る単回帰分析の求め方について理解ら分析を行える。		
受業の原 ③ アクラ 受業計画	三ィブラー <u>ニ</u> 国	区記号の 修上の区グ 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週	D計算や一次関数、不等式の基礎的な計分 □ ICT 利用 授業内容 データとデータ解析 2 データとデータ解析 2 データの整理と基本統計量 1 データの整理と基本統計量 3 データの整理と基本統計量 3 データの整理と基本統計量 4 データの整理と基本統計量 5 データの整理と基本統計量 6 相関係数と単回帰分析 1 相関係数と単回帰分析 2 相関係数と単回帰分析 3 相関係数と単回帰分析 3 相関係数と単回帰分析 4	貫習を行いそのレポー算などを復習してま □ 遠隔授業対応	(1) で、尺、様 度夕 単ら 基)こ 度行 度行 散こ 散果 単 最、相。 で ーデ度 々 数を 純そ 本にと 本にと 数い 数い 布と 向を 回 小少 関 が かった まれ 続つが 統つが 分、 分、 図が 図説 帰 二数 係 が を	□ 実務経験のある教員による技 標 どのようなものかを説明できる。ま (名義尺度、順序尺度、間隔尺度、 なものがあるのかを説明できる。 ついてその特徴を説明できる。 ストグラムについて理解し、少数データがることができる。 ス集計について理解し、少数データがることができる。 ち代表値(平均、モード、メディアがあることができる。 ち代表値(平均、モード、オを求めることができる。 ち代表であることができる。 ち代表であることができる。 ち代表であることができる。 ち代表であることができる。 な統計量、クロス集計表などの演習を求めることができる。 本統計量、クロス集計表などの演習を求めることができる。 本統計量、クロス集計表などの演習を求めることができる。 本統計量、クロス集計表などの演習を求めることができる。 本統計量、クロス集計表などの演習を求めることができる。 本統計量について理解し、それぞれを求め 数について理解し、それぞれを求め 数について理解していて理解しする。 る単回帰分析の求め方について理解 ら分析を行える。 寄与率による単回帰分析の評価でき		
受業の原	三ィブラー <u>ニ</u> 国	区記号の 修上の区グ 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 11週 12週 13週 14週	D計算や一次関数、不等式の基礎的な計分 □ ICT 利用 授業内容 データとデータ解析 2 データの整理と基本統計量 1 データの整理と基本統計量 2 データの整理と基本統計量 3 データの整理と基本統計量 3 データの整理と基本統計量 6 相関係数と単回帰分析 1 相関係数と単回帰分析 1 相関係数と単回帰分析 3 相関係数と単回帰分析 3 相関係数と単回帰分析 4 相関係数と単回帰分析 4	貫習を行いそのレポー算などを復習してま □ 遠隔授業対応	過 デ、尺 様 度夕 単ら 基)こ 度行 度行 散こ 散果 単 最、 相。 単でここ デ度 々 数を 純そ 本にと 本にと 数い 数い 布と 向を 回 小少 関 回き と ター) な 分も 集れ 統つが 統つが 分、 分、 図が 図説 帰 二数 係 帰る とで と明 分 乗デ 数 分。 まに とれ 置 でき 量 てき るれ やぞ とで と明 分 乗デ 数 分。 は 大種よ フ とそ クを の理る の理る やぞ やぞ とで と明 分 乗デ 数 分。 の に とれ 回す の解。 人称。 基れ 基れ 傷。 係る ど よか び つ	□ 実務経験のある教員による技 標 どのようなものかを説明できる。また。 (名義尺度、順序尺度、間隔尺度、 なものがあるのかを説明できる。 ついてその特徴を説明できる。 ストグラムについて理解し、少数データがあることができる。 ス集計について理解し、少数データがあることができる。 ち代表値(平均、モード、メディアが もし、少数データからそれぞれを求めることができる。 特に散布度(範囲、分散、標準編纂 し、少数データからそれぞれを求めることができる。 本統計量、クロス集計表などの演習を求めることができる。 本統計量、クロス集計表などの演習を求めることができる。 本統計量、クロス集計表などの演習を求めることができる。 本統計量、クロス集計表などの演習を求めることができる。 本統計量、クロス集計表などの演習を求めることができる。 本統計量、クロス集計表などの演習を求めることができる。 本統計量、クロス集計表などの演習を求めることができる。 本統計量、クロス集計表などの演習を求めることができる。 本統計量、クロス集計表などの演習を求めることができる。 本統計量、クロス集計表などの演習を求めることができる。 本統計量、クロス集計表などの演習を求めることができる。 本統計量、クロス集計表などの演習を求めることができる。 本統計量、クロス集計表などの演習を求めることができる。 本統計量、クロス集計表などの演習を求めることができる。 本統計量、クロス集計表などの演習を求めることができる。 本統計量を説明できる。		
受業の原] アクテ 受業計画	三ィブラー <u>ニ</u> 国	区記号の 修上の区グ 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週	D計算や一次関数、不等式の基礎的な計分 □ ICT 利用 授業内容 データとデータ解析 2 データとデータ解析 2 データの整理と基本統計量 1 データの整理と基本統計量 3 データの整理と基本統計量 3 データの整理と基本統計量 4 データの整理と基本統計量 5 データの整理と基本統計量 6 相関係数と単回帰分析 1 相関係数と単回帰分析 2 相関係数と単回帰分析 3 相関係数と単回帰分析 3 相関係数と単回帰分析 4	貫習を行いそのレポー算などを復習してま □ 遠隔授業対応	過 デ、尺 様 度夕 単ら 基)こ 度行 度行 散こ 散果 単 最、 相。 単でここ デ度 々 数を 純そ 本にと 本にと 数い 数い 布と 向を 回 小少 関 回き と ター) な 分も 集れ 統つが 統つが 分、 分、 図が 図説 帰 二数 係 帰る とで と明 分 乗デ 数 分。 まに とれ 置 でき 量 てき るれ やぞ とで と明 分 乗デ 数 分。 は 大種よ フ とそ クを の理る の理る やぞ やぞ とで と明 分 乗デ 数 分。 の に とれ 回す の解。 人称。 基れ 基れ 傷。 係る ど よか び つ	□ 実務経験のある教員による授標 標 どのようなものかを説明できる。また (名義尺度、順序尺度、間隔尺度、1 なものがあるのかを説明できる。 ついてその特徴を説明できる。 ストグラムについて理解し、少数データかることができる。 ち代表値(平均、モード、メディアがあることができる。 ち代表値(平均、モード、メディアがあることができる。 ち代表値(平均、モード、メディアがあることができる。 ち代表値(平均、モード、メディアがあることができる。 ち代表値(平均、モード、メディアがあることができる。 ち代表し、少数データからそれぞれを求めるたがあることができる。 本統計量、クロス集計表などの演習を求めることができる。 本統計量、クロス集計表などの演習を求めることができる。 本統計量、クロス集計表などの演習を求めることができる。 本統計量、クロス集計表などの演習を求めることができる。 あについて理解し、それぞれを求める。 あいて現解しする。		

	3rdQ	1调	記述統計と推測統計			記述統計との比較で推測統計の必要性について説明で				
		2週	確率の概念 1			独立試行の確率、反事象の確率の基	きる。また、母集団と標本について説明できる。 独立試行の確率、余事象の確率、確率の加法定理、排 反事象の確率の基礎を理解し、簡単な場合の確率を求 めることができる。			
		3週	確率の概念 2			条件付き確率、確	条件付き確率、確率の乗法定理、独立事象の確率を理解し、簡単な場合について確率を求めることができる。			
		4週	正規分布と各種確率分布			正規分布や二項分る。	正規分布や二項分布などがどのようなものかを理解する。			
		5週	標準正規分布と正規分布表 1			標準正規分布と正 きる。	標準正規分布と正規分布表どのようなものかを説明できる。			
		6週	標準正規分布と正規分布表 2			正規分布表の使う	正規分布表の使うことができる。			
後期		7週	正規分布の性質と正規分布表 1			一般的な正規分布 分布表を利用し様	一般的な正規分布の性質を理解し、それをもとに正規 分布表を利用し様々な計算ができる。			
1ਓ期		8週	正規分布の性質と正規分布表2			一般的な正規分布 明できる。	一般的な正規分布の確率の計算演習を通し、結果を説 明できる。			
		9週	統計的推定とは			統計的推定の考え	統計的推定の考え方について説明できる。			
	4thQ	10週	平均値の区間推定 1			正規分布を使った平均値の区間推定を行うことができる。				
		11週	平均値の区間推定 2			正規分布を使った平均値の区間推定について演習を行い、その結果を説明できる。				
		12週	統計的検定とは			統計的検定の考え方を説明できる。				
		13週	平均値の検定1			正規分布を使った	正規分布を使った平均値の検定を行うことができる。			
		14週	平均値の検定 2			正規分布を使った平均値の検定について演習を行い、 結果を説明できる。				
		15週	様々な統計的な手法			様々な統計的な手 説明できる。	様々な統計的な手法について <i>ど</i> のようなものがあるか 説明できる。			
		16週								
評価割合	ì									
試験		験	課題演習	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計		
総合評価割合)	30	0	0	0	0	100		
基礎的能力)	30	0	0	0	0	100		
専門的能力			0	0	0	0	0	0		
分野横断的	能力 0		0	0	0	0	0	0		